

平成13年9月に国内で牛海綿状脳症が発生



飼料安全法で、牛等に肉骨粉等を与えることを禁止しているため、FAMICでは、飼料中に肉骨粉等が混入していないか検査しています。

肉骨粉等の混入検査は3つの方法で行っています。

—①顕微鏡鑑定による肉骨粉混入検査—

牛用配合飼料、魚粉、チキンミールなどに肉骨粉の混入がないかを、顕微鏡で確認します。

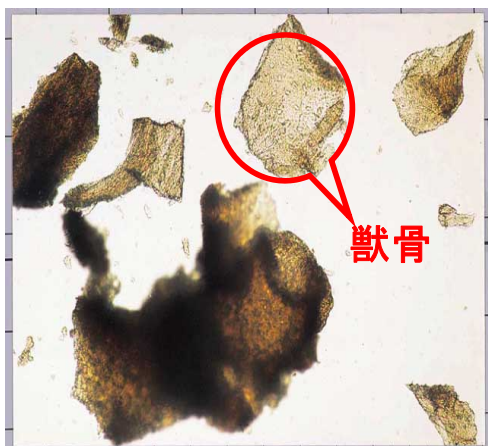
方法

飼料を粉碎後、比重の重い溶媒で分離し、骨などの重い物質を集め、水酸化ナトリウムで煮沸し、表面の状態を見やすくした後、**顕微鏡で肉骨粉の混入の有無を観察**。

顕微鏡鑑定(例)

肉骨粉

(アルカリ処理、100倍)



【特徴】魚骨等と比べて厚く塊状、多数の小腔がある。

チキンミール

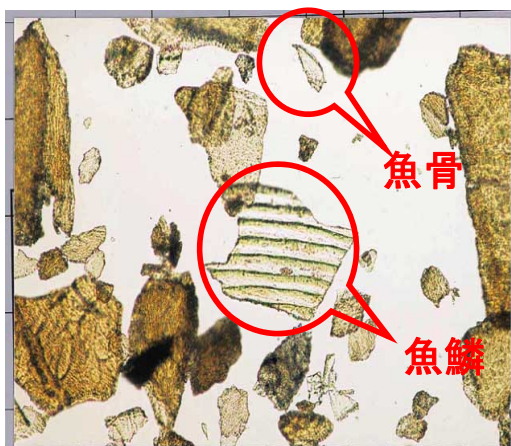
(アルカリ処理、100倍)



【特徴】鶏骨は獣骨と比べて粉碎すると鋭角的な破片となりやすい。

魚粉

(アルカリ処理、100倍)



【特徴】獣骨に比較して薄く、鋭角的に破碎される。鱗は透明な石灰塩類の沈積対で同心円状の溝がある。

参考資料:飼料原料図鑑(株式会社芝光社発行)